

むかしの索道技術を継承しよう！
「野猿(ヤエン)による木材搬出」研修会
(ご案内)

古来、日本人は、森林と深く関わり、その森から多くの恩恵を受けてきました。森林と共に生きる中で、木を活用するための卓越した技術を育み、日本独自の木の文化を築き上げてきました。

山から木を運び出す技術で、日本林業の機械化のはじまりと言われる、ヤエン(野猿)と呼ばれる木材搬出方法があります。1889年頃、尾鷲地方において使われ始めたそうです。これは鉄線を尾根筋の適地から谷筋の道路まで張り渡しその鉄線に荷を吊って、自重により線上を滑走させるもので、この技術が架線集材へと発展しました。

このような先人達から受け継がれた巧みの技術、森林・山村の文化を後世に継承していくことは非常に意義深いことです。

この研修会を通じて、人と森林との深い関わり方の歴史と、その中で培われてきた独自の林業技術を見つめ直し、今後の森林づくりを考える機会にしたいと思います。

テーマ：野猿方式による木材(間伐材)搬出技術を学ぶ

日時：平成20年2月5日(火)13時から16時(予定)

場所：松阪市飯高町森地内の山林

集合場所：松阪市飯高町「ホテルスマール」駐車場

松阪I.Cから約50km(約70分)

スケジュール

13:00~13:30 全体説明・現地へ移動(乗り合わせ移動)

13:30~15:30 現地作業(間伐材搬出)を見学

15:30~16:00 移動・現地解散(乗り合わせの方はホテルスマールにて解散)

講師：上尾林業(上尾欽吾氏ほか)

参加料：無料

主催：三重県林業研究グループ連絡協議会(TEL 059-224-2991)

国立大学法人 三重大学演習林 (TEL 059-274-0135)

申込み：下記によりFAXでお申込みください。〆切：2月1日(金)

FAX送付先：059-224-2070 県林研事務局：木下

氏名	所属名(林研グループ等)